平成２０年度　府立藤井寺工科高等学校　定時制課程　　学校評価結果　　回答者　21名（内3名学校協議会委員）　　平成21年2月実施

	学校経営の方針	学校経営の取り組み内容	具　体　例	5点	4点	3点	2点	1点	未記入	計	評　価　コ　メ　ン　ト
1	規範意識を養い、豊かな人間性を育む学校づくりをめざす。	1－1　コミュニケーション能力の養成や集団的活動の醸成	①挨拶	7	6	7	1	0	0	21	教職員の多くは、生徒との関係作りの基本である挨拶や声かけを積極的に行っている。しかし、授業や行事では教員からの発信が主の授業がまだまだ多い。より生徒参加型の授業展開の導入がｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ力を高める上で有効な方法であり、今後検討する課題である。
			②声かけや話しかけ	7	9	4	1	0	0	21	
			③授業等で発言や発表の機会を増やす.	3	7	8	2	1	1	21	
			④学校行事等の生徒会活動への支援	10	7	3	0	1	0	21	
		1－2　規範意識の養成	①禁煙や交通マナー指導	6	3	7	3	2	0	21	社会生活を行うのに不可欠な課題を、身につけるきっかけとするためや、マナーやルールの必要性を理解させるためには、よりﾒﾘﾊﾘのある指導の工夫も必要である。
			②携帯電話使用指導	1	8	6	2	3	1	21	
			③様々な人権教育の実践	8	8	4	1	0	0	21	
		1－3　環境に優しい学校づくり	①下足指導	4	7	9	1	0	0	21	指導の徹底が難しい面もあるが、全日制との共同使用という現実を指導に活用する事も必要。生徒が参加できる具体的な作業を取り入れることを生徒会活動として実施出来ないか。
			②美化,整理整頓指導	3	11	3	2	2	0	21	
			③物を大切にする指導	4	10	4	0	3	0	21	
2	中退防止実現のための環境づくりをめざす.	2－1　基礎学力･基礎技術の向上	①わかりやすい授業の実践	6	9	4	0	0	2	21	「読み･書き･計算」の復習や際学習の機会を補習等の実施を検討することも有効な方法である。
			②基礎学力や基礎技術をつける授業の実践	9	7	3	0	0	2	21	
			③義務教育内容の復習の実践	5	8	6	0	0	2	21	
		2－2　進路保障の充実	①就職相談と指導や会社訪問と企業開拓の実践	12	6	1	0	0	2	21	生徒の大多数が就職希望の要望に応えている。今後、希望者が少ない専門学校や短大･大学への進学希望者への対応も進路選択の一つとして生徒の要望に応えることが出来る進路指導を目指す必要性がある。また、低学年からの進路ガイダンスを充実も不可欠である。
			②進学相談と指導や補習等の実施	9	9	0	1	0	2	21	
			③ＬＨＲ等を活用した計画的進路ガイダンスの実践	6	6	5	1	0	3	21	
			④各種資格試験受検講習会の開催	11	7	0	1	0	2	21	
		2－3　家庭や中学校等との連絡	⑤家庭や中学校等との連絡、連携	5	5	9	1	0	2	21	
3	地域連携推進の基礎となる広報活動の強化を図る.	3－1　学校からの情報発信	①ＨＰの活用と充実	3	9	6	1	0	2	21	現在実施している行事を充実させ継続的に行えるように担当者、協力者を校内だけではなく、校外にも求める事も地域との連携に繋がると考える。従って現在行っている保育園との交流を発展させ、町会等の組織との連携を取り入れることも有効な方策の一つになる。危機管理の課題を乗り越え、公開を可能にする方法の検討も必要である。
			②マスコミへ等への情報提供	5	4	8	2	0	2	21	
			③町会等住民組織との連携	3	3	9	2	2	2	21	
		3－2　地域との交流活動	①保育園等との交流	10	6	3	0	1	1	21	
			②生徒･ＰＴＡによる地域への奉仕活動等	2	6	6	1	4	2	21	
			小計	139	159	115	23	19	28	483	今回の「学校評価結果」と「学校教育自己診断の生徒･保護者の結果」の両面から総合的な分析を行い、次年度の様々な目標や課題設定に活用出来る資料としたい。
			%	29	33	24	4.8	4	5.8	100	